

わが社の イチ押し社員

自覚を持ち仕事に取り組む



近畿刃物工業 製造部 宮崎 大さん

入社して5年目になる。入社以来、刃物づくりの最初の工程である材料の切断や成形を担当している。5人のチームで、2017年から責任者を任されている。先輩からは、私が意見を言いやすい環境をつくっていただけており、感謝している。最初の工程で失敗すれば後の工程に迷惑がかかる。全員が重要なポジションを担当しているという自覚を持ち仕事に取り組んでいる。顧客満足度向上には短期が重要な要素だと考えている。他の工程には研磨機など最新の加工機が導入されており、加工速度が上がっている。我々がスピードアップすれば、会社全体の生産性向上につながる。そこで、段取りや加工の順番、切戻方法などを話し合い、最善の方法が取れるよう努力している。

また、他の工程の先輩に機械の操作方法などを教わっている。全体の仕事を把握できるようなれば、自分たちが行っている仕事の意味を再認識できると思うから

だ。好奇心は旺盛なので、今後は継続して、できることを増やしていきたいと思

っている。将来は、この人がいてくれたら安心と言われたい。

トップが語る 強みと戦略

Takeda Works 社長 原 正和氏



わが社は食品や医薬品などの製造現場で使用されるロータリージョイントの開発・製造をメインに手がける。ここ最近では中国においても食品の安心・安全の意識が高まっており、わが社の無菌充填機用ロータリージョイントの需要が拡大。現地の大手飲料メーカーにも採用されている。

この流れに対応するため、6月に新たに中国の現地法人を立ち上げた。中国では既に現地法人を設置していたが、新現地法人では有機廃棄物資源化装置の販売も手がけている。

中国の環境改善の一助に

この新たな環境事業を成功に導くため、中国人を含め3人を採用した。社員教育にも力を注ぎ、新たな展開を加速させる考えだ。現状に油断することなく、中小企業の強みを生かし、常に新しい分野に挑戦していく。

大阪 北河内 産業界

コミュニケーションを自らの成長に



製造部 丸山 浩文さん

入社してから一貫して旋盤加工業務に携わってきた。最初は戸惑うばかりだったが、気が付けば10年たった。自分では多少なりとも仕事が分かってきたような気がする。また、ここ2年はアイシニングプレス機の加工業務にも取り組んでいる。作業内容も違ってくるが、当社が製作している鏡面加工・製作の業務の流れが分かってきた。

最近では新入社員やベトナム実習生の指導も任せられるようになった。やはり自分が教えたことを吸収してくれて、成長する姿を見るのはうれし。また、若い世代や違う国の後輩とコミュニケーションを深めることも自分の成長と考えている。

性格がおとなしいため、入社当時は回りから心配されたと思う。ただ、自分も既に中堅社員。今後は、新人時代の自分のような後輩を気遣って、一緒に頑張っていきたい。

仕事の疲れを癒やすのは専らゲームだ。夢中でやっているから、社内からは子どもと一緒に遊ぶように注意されている。

丸山塗装工業 会長 丸山 和豊氏



わが社は一般塗装から特殊塗装、少量から多量まで幅広く対応できる体制を構築している。関西地区では業界最大級の規模を誇る工場と設備を生かし、独自の調色と塗装技術であらゆる塗装ニーズに迅速に対応できるのが強みだ。

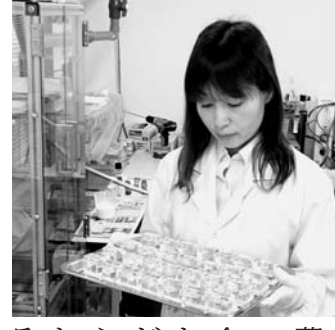
メッキ焼付塗装やウレタン塗装がメインだが、2012年の新社屋完成に伴い、24時間フル稼働と粉体塗装をスタートさせた。6カ所の工場を有し、受注した製品の加工については最適な工場を選定し、人員を配置。現場作業を効率的に行うことで高品質・短納期を実現している。

また、人材育成にも力を注いでいる。「人材あつての企業」という考えのもと、熟練社員から若手社員への技術指導、従業員同士の徹底した安全管理、社内外でのコミュニケーションの活発化など、信頼関係を強める環境づくりを進めている。特に若手社員の成長には期待を大きくしている。

目指すのは塗装のイメージを変えることと、チャンスを与える会社だと考えている。

チャンスを与える会社に

消費者の立場で製品開発



開発部 阿比留 恵さん

入社して初めて自分で開発したウレタン素材製耐震用グッズの「ピタッピタ」(ピタッロック)は、おかげさまで発売開始から4年がたった。普段、B271B(企業間)用の製品を研究・開発しているが、消費者向け製品は当初、売り方に難しさを感じた。今となっては懐かしい思い出。展示会場などで一般のお客さんに聞かれても、対応がうまくできなかったこともあったが、現在では製品の使用方法なども提案して、販促活動に取り組んでいる。消費者向けの製品なので、お客さんの要望や意見を反映させて改良を進めることが大事だと考えている。

ピタッピタは色のバリエーションはあるのだが、お客さんからの要望で、より大きなサイズでの製品開発をしているところだ。現在挑戦しているのが、同じくウレタン素材製癒やし系グッズ。癒やし系グッズが好きなので、自分が消費者としての立場に立って、開発している。今後もいろいろな製品を開発していきたいが、社長や先輩社員からアドバイスをもらいながら、研さんしている毎日だ。

仕事は昔からの、大阪の板金屋さん。トラクターのエンジンなどの試作品や、遊園地などで遊具として使われる電気自動車(EV)の車体などを手がけている。これまで数多くの顧客ニーズに応えてきた。むしろ要望も多かったが、その都度対応できたのはひとえに社員のおかげだ。会社は、人の質が全てだと考えている。

2014年に製作に着手した小型ロードトレインを完成できたことは、社員教育のたまもの。担当者はまた若手の技術者だが、自分で考えて常に挑戦し続け、現在まで

淀川製作所 社長 小倉 庸敬氏



で合計8台を受注できた。今後もいろいろなタイプの車両を製作する予定だが、一番の目玉はJR東海で最近人気の「ドクターイエロー」タイプの車両。年間10台の生産を目指して営業と生産現場が一丸となり頑張ってきた。一方、社会貢献も企業として必要だ。現在、大阪大学と共同で、病院でのベッドによる患者の床ずれなどを防ぐ看護装置を開発中。依頼を受けたときは断るつもりだったが、協力してくれるところがないと聞き、がぜんやる気が湧いた。モノづくり屋として、できないとは言わない。

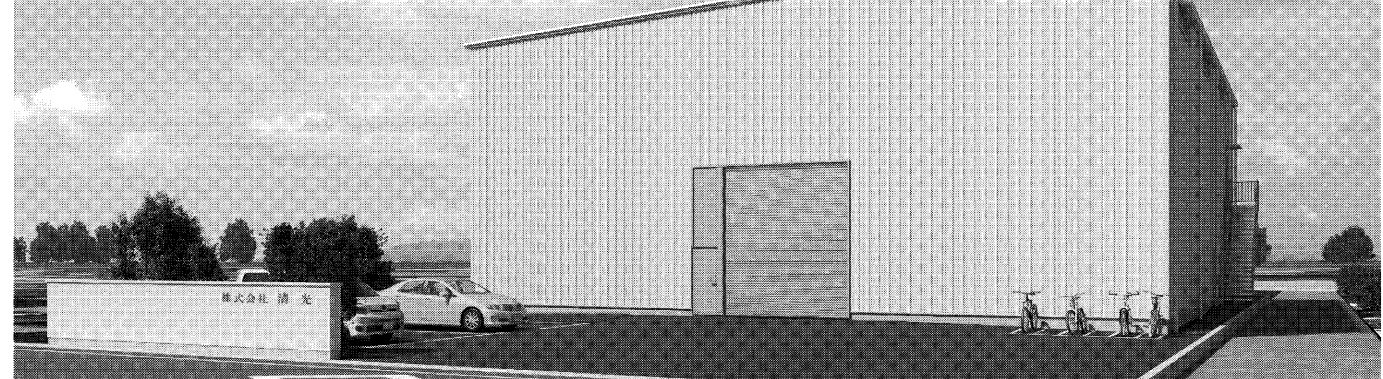
できないとは言わない

誰でも簡単に高精度の芯出しが可能

Kiyomitu 芯出し調整機能付き生爪 **オフセット生爪** 特許 第5325644号

鉄・アルミ・アルミーゴ hard

8月寝屋川市に本社・工場移転



Kiyomitu 株式会社 清光 〒570-0043 大阪府守口市南寺方東通1-11-8
TEL(06)6994-0127 FAX(06)6994-0128
VOIP: 050-3462-8315
<http://www.kiyomitu.co.jp/> E-mail:kiyomitu@smile.ocn.ne.jp

自動帯束機/テーピングマシン

自動ライン対応型 COMはCommunicationです

COM® WAS250-30-AUTO-UD型

■特徴

- 従来 製品の底面にヒートシールしていた帯束を製品上面にシールするタイプです。
- 製品をひっくり返さずに帯束テープをはがせます。
- 製品サイズ、ライン仕様にてご対応致します。

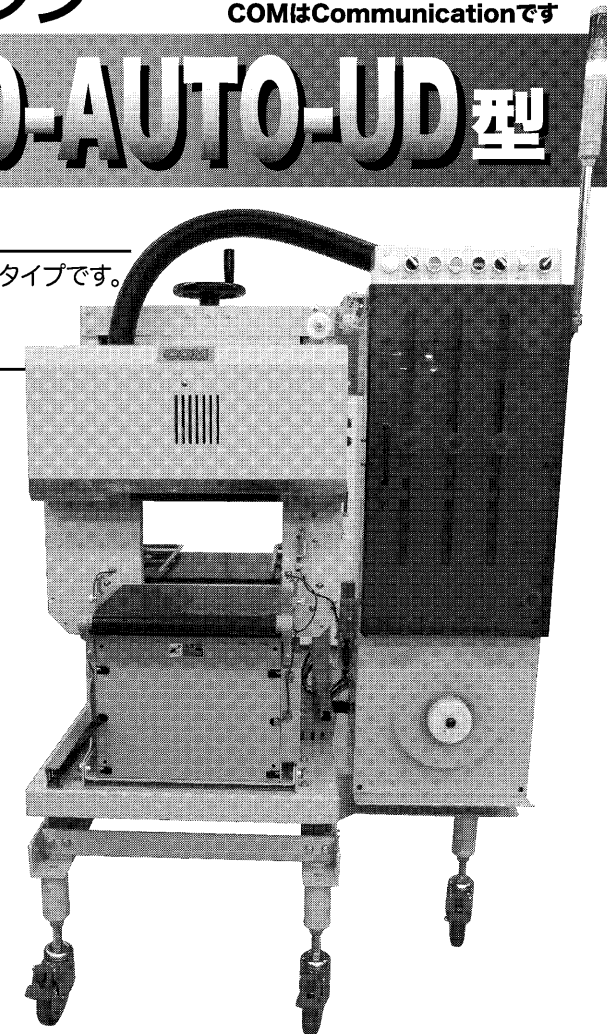
■機械性能

帯束できる寸法	最大 幅250mm×高さ140mm 最小 幅 50mm×高さ 50mm
帯束能力(分)	18回

■機械仕様

全 幅	970mm
全 高	1,230mm (テーブル高さ800±50mm)
奥 行	780mm
電 源	100V 50/60Hz (定格消費量750W)
エア源	0.5~0.6Mpa

*印刷テープ位置決め機能、プリンター取付は、オプションです。



大洋精機株式会社

TAIYO SEIKI CO.,LTD

本 社 〒574-0062 大阪府大東市氷野4-3-7
TEL:072-873-3739 FAX:072-875-4324
東京営業所 〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-5-12 船山ビル401
TEL:03-5639-9033 FAX:03-5639-9060

E-mail: taiyo@com-machine.co.jp <http://www.com-machine.co.jp>